日 時：平成 30 年 6 月 30 日（土）13：00～15：00

出席者：加藤久典、熊谷日登美、児玉浩子、清水 誠、武見ゆかり、那須民江、藤原葉子、宮澤陽夫

欠席者：那須民江、宮地元彦

場 所：お茶の水女子大学 本館 201 室

議題

（ 1 ） 前回議事要旨の確認

前回の議事要旨の内容について確認し、承認した。

（ 2 ） IUNS 理事会報告

IUNS 理事の宮澤委員から、IUNS の活動はこれまでの内容を踏襲するという方針が報告された。IUNS から学術会議宛に「がんと栄養」に関するタスクフォースのアンケート回答依頼が届き、加藤委員長が回答した。

（ 3 ） ICN2021 に向けての準備状況

加藤組織委員長より、以下の報告がなされた。岡山での栄養・食糧学会大会期間中（5 月 12 日）に ICN2021 組織委員会を開催した。9 月 3 日に次回の ICN2021 組織委員会を開催する予定であり、それまでに各委員会委員を確定する。IUNS と日本の組織委員会との間で契約書の作成作業を行っている。その草案が配布され、方針について承認された。

（ 4 ） IUNS 若手ワークショップの開催

これまで 3 回の開催場所であった国立健康・栄養研究所の移転計画があり、同研究所が利用できるかどうかを確認することとなった。

（ 5 ） その他

- ・ 日本栄養学学術連合のこの 1 年間の活動について同連合の代表世話人である武見委員から紹介された。文部科学省の大学設置・学校法人審議会（大学設置分科会）の専門委員会として、栄養学専門委員会を設置することの要望書を、2017 年 9 月 26 日に全国栄養士養成施設協会と連名で提出し、平成 30 年度よりこれが設置された。
- ・ ICN2021 以降の活動目標について議論を進めていくことが確認された。
- ・ 国際学術団体関連の分科会の国際学術団体への貢献について、国内の認知度を上げる方策などを考えるよう山極会長から指示があり、武田氏（東大）、澁澤氏（農工大）、熊谷委員（日大）で協議することになっていることが報告された。
- ・ 第 13 回アジア栄養学会議（ACN2019、インドネシア）の準備状況について、加藤委員長から報告があった。
- ・ 2020 年に日本政府による栄養サミットが計画されている旨の報告があった。
- ・ 次回委員会は平成 30 年 9 月頃開催する方向で調整することとなった。

以上

（記録 熊谷日登美、文責 加藤久典）